

## 鎌倉市図書館ビジョン骨子（案）

平成 30 年 3 月 28 日

### 1. 理念と 3 つのポイント

#### 「つながる、ひろがる、100 年図書館」

##### （1）つながる、とは・・・

- ・ 知りたい情報をいつでも、あらゆる人が利用できる身近な施設づくりを行います。
- ・ 求める資料・情報と利用者をつなぎます。
- ・ 学校との連携を推進し、子どもたちと読書をつなげます。
- ・ 図書館ネットワークを充実させます。
- ・ 地域資料を収集・保存・公開し、鎌倉市の現在と過去、未来をつなげます。

##### （2）ひろがる、とは・・・

- ・ 読書を通じて、興味関心・知識がひろがるようなサービスを行います。
- ・ 手にとった本によって世界がひろがるような、魅力ある蔵書作りを行います。
- ・ 市民参画・協働の図書館として、これからも市民とともに図書館を盛り上げます。
- ・ 図書館での活動を通し、さまざまな世代が交流でき、市民が発信していけるような取り組みを行います。

##### （3）100 年、とは・・・

- ・ 平成 23 年 7 月、鎌倉市図書館は設立 100 周年を迎えました。これまでの歩みを大切に、100 年先の未来にも誇れる図書館を目指します。
- ・ 地域を大切にするのはもちろん、世界に向けて、地域資料を通して歴史ある鎌倉の魅力を発信していきます。

### 2. 各館の役割についての検討

#### （1）中央図書館

##### ア 鎌倉市役所跡地への移転前

- ・ 職員、非常勤嘱託員への研修機能の強化
- ・ 近代史資料の整理
- ・ 電子図書館機能の充実（デジタルアーカイブ、国会図書館デジタル化配信資料の閲覧、データベース、デジタイズ図書、電子書籍）

##### イ 移転後

- ・ 地域館へのサポートセンターとしての役割
- ・ 学校との連携
- ・ 近代史資料の活用
- ・ IC タグ、wi-fi、自動予約本受取機の導入・活用
- ・ 電子書籍の貸出

《必要なスペース・設備》

排架・閲覧スペース、独立型の児童コーナーおよび YA コーナー、サーバー室、バックヤード（整理室相当）、事務室、近代史担当室、対面朗読室、データベース用インターネット端末、展示スペース

(2) 地域館

ア 拠点校への複合化前

- ・地域の居場所
- ・身近な情報センター
- ・各地区の特色ある資料の収集・保存・活用
  - (ア) 腰越地区：広町、腰越漁港、交通（江ノ電）
  - (イ) 深沢地区：学校連携、交通（湘南モノレール、JR 工場跡地）
  - (ウ) 大船地区：松竹、田園都市、交通（大船駅）
  - (エ) 玉縄地区：玉縄城址、フラワーセンター など

イ 複合化後

- ・現在行っている図書館サービス機能の維持
- ・拠点校の学校図書館との連携
- ・他の施設（生涯学習施設等）との連携
- ・各地区の特色ある資料収集・保存・活用

(資料)

鎌倉市図書館蔵書数（『鎌倉市の図書館』平成 28 年版より）

対象別	中央図書館	腰越図書館	深沢図書館	大船図書館	玉縄図書館	合計
一般図書	180,168	49,940	51,839	41,862	47,194	371,003
児童図書	31,554	20,334	28,480	20,144	20,274	120,786
参考図書	20,321	988	4,000	652	1,154	27,115
郷土資料	25,984	1,593	3,283	422	1,492	32,774
和書他	3,923	0	0	0	0	3,923
図書小計	261,950	72,855	87,602	63,080	70,114	555,601
雑誌	4,255	36,256	1,591	2,136	1,545	45,783
AV 資料	14,960	1,498	1,257	1,868	1,361	20,944
計	281,165	110,609	90,450	67,084	73,020	622,328

- ・腰越地下蔵書数 34,520 冊（平成 29 年 10 月 31 日現在）
- ・深沢地下 児童関連 15,705 冊 参考・郷土 3,723 冊
- ・中央地下 出版年が戦前で未登録のもの 13,150 冊  
近代史資料室で未登録の資料約 13,542 冊（寄贈文庫など）